

正をお願いすることがあります。また、（一社）東京都作業療法士会学術誌編集委員会の責任において、多少の字句の訂正をすることがあります。

8. 再投稿について

修正後再査読の論文は6ヵ月以内に再投稿してください。それを過ぎた場合は新規投稿として扱われます。

9. 校正について

著者校正は原則として1回とします。校正は赤で行い、指定の期限内に返送してください。

10. 別刷進呈について

各論文の筆頭著者に別刷30部を進呈します。希望者には50部単位で有料別刷を作成します。

11. 投稿の手続きについて

- 1) 執筆形式の確認：後出の執筆要領に沿っていることを確認してください。
- 2) 投稿の方法：論文は、3つのMS-Wordファイル（①表題頁，②要旨，③本文と文献）と，④図・表は1つの図や表ごとに1点ずつのPDFファイルとし、メール添付で以下のアドレス宛に送付して下さい。
- 3) 投稿時の提出書類：⑤自筆署名後の投稿承諾書，⑥作業療法士である著者全員の会員証データ，⑦作業療法士である著者全員の所属都道府県作業療法士会の会費を納めていることがわかる書類，⑧筆頭著者の研究倫理教育修了証は、PDFファイルで2)と同様に送付して下さい。なお、研究倫理教育修了証については、（一社）日本作業療法士協会 研究倫理教育の受講のお願い〈https://www.jaot.or.jp/member/from_assoc/detail/576/7895-z/〉を参照してください。

（一社）東京都作業療法士会 学術誌編集委員会 Email: henshu@tokyo-ot.com（東京都作業療法士会事務局 Tel: 03-6380-4681）

*掲載された論文の著作権（著作人格権，著作財産権）は著者に帰属します。著者は一般社団法人東京都作業療法士会へ、同会が公益事業に役立てるために行う掲載論文の複写・複製・翻訳・翻案・要約および第三者への転載許諾の権利を譲渡するものとします。なお、機関リポジトリへの登録は掲載号発行1年後から出版社版（PDF）の公開を認めます。

執筆要領

1. 論文は、表題，要旨，英文要旨，本文，文献，図・表からなるものとします。ただし、英文要旨は掲載決定後の執筆とします。
2. 論文の本文は、原則として、はじめに、方法，結果，考察，結論が明らかになるように書いてください。また、原稿には頁番号をつけてください。
3. 表題頁は2枚つけてください。1枚目には、論文種目（研究論文，実践報告など），表題，著者名（投稿規定3を参照），著者所属，筆頭著者の電子メールアドレス，キーワード3～5つを記載してください。2枚目（査読用）には、論文種目，表題，キーワードを記載してください。キーワードは、（一社）日本作業療法士協会 作業療法キーワード集〈https://www.jaot.or.jp/academic_journal/key-word/〉の中から選択してください。また、責任著者（投稿規定4を参照）と連絡先のメールアドレスを記載してください。
4. 倫理上の配慮について

論文として掲載される研究は、調査・研究の倫理的原則に従ったものである必要があります。投稿者は研究対象者の権利を尊重した表現を行う義務があります。（一社）東京都作業療法士会学術誌編集委員会は、必要に応じてこれらの事項に関する証明を投稿者をお願いすることがあります。なお倫理審査を経ている場合は、承認番号（ないときは承認年月日）を記載してください。倫理審査を経していない場合は、所属施設（ま

たは部門)の責任者より文書による承認を得て、その旨を本文中に記載してください。また、研究対象者へのインフォームドコンセントの手続きについて、本文中に記載してください。さらに、論文に関連する企業や営利団体等との利益相反(COI)の有無について(ある場合は、その内容も)、本文の最後(文献の前)に明記してください。

5. 投稿書式について

- ① すべて横書きとし、A4用紙縦40字×横40字の1600字分を1枚とします。本文は基本的に明朝体とし、フォントサイズは10.5ポイントとします。
- ② 要旨は300字以内で記載してください(10.5ポイント)。
- ③ 本文には「はじめに」など小見出しをつけ、小見出しはゴシック体とします。小見出しの前は一行空けてください。

6. 文章表現は以下の点に留意してください。

- ① 現代仮名遣いとし、数字は算用数字、数量は国際単位系(SI単位)を用います。(例:m, cm, mm, ml, kgなど)
- ② 外国の人名には原語を用い、活字体で明瞭に書いてください。
- ③ 術語はできるだけ訳語を用い、必要に応じて()内に原語を入れてください。日本語化しているものはカタカナとします。
- ④ 本文中で複数回略語を使用する場合は、初出箇所で(以下、略語)のように明示してください。(例1 作業療法(以下、OT) 例2 作業療法(occupational Therapy; 以下、OT))

7. 引用・転載について

論文作成にあたって、著作権についての配慮を行ってください。論文中に他の著作物からの引用を行なうときには、その出典を明記してください。また、引用の範囲を超えた「転載」には、著作権者やその著作物の出版社の許諾が必要です。論文が掲載されるために必要となる「転載」についての手続きは、投稿者が責任を持つこととします。

8. 文献リストは引用文献のみとし、引用順に配列してください。著者名は5名までを記載し、6名以上は“他”とすることを原則とし、表記の形式は以下の例に倣ってください。

〈書籍の場合〉

- 1) Cook AM, Hussey SM (上村智子・訳) : 作業療法実践のための電子支援技術. Pedretti LW・編著(宮前珠子, 清水 一, 山口 昇・監訳), 身体障害の作業療法, 改訂第4版, 協同医書出版社, 東京, 1999, pp.583-599.
- 2) Reid J: Computer and occupational therapy. In Creek J(ed), Occupational Therapy and Mental Health. Churchill Livingstone, New York, 1990, pp.267-288.

〈雑誌の場合〉

- 3) 能登真一, 村井千賀, 竹内さをり, 岩瀬義昭, 中村春基: 地域在住の要介護高齢者に対する「生活行為向上マネジメント」を用いた作業療法の効果—多施設共同ランダム化比較試験—. 作業療法 33 (3) : 259-269, 2014.
- 4) Witt A, Cermak S, Coster W: Body part identification in 1- to 2-year-old children. Am J Occup Ther 44 (2): 147-153, 1990.

〈オンラインの場合〉

- 5) (一社) 日本作業療法士協会: 学術誌「作業療法」論文投稿に関する倫理指針.
http://www.jaot.or.jp/members/gakujutushi_toko_rinri/ (参照 2012-04-27) .
- 6) Chung JCC: Using problem-based learning (PBL) with Hong Kong occupational therapy students: Opportunities and challenges. Asian J Occup Ther 2 (1):10-22, 2003. <http://www.jstage>.

9. 図・表について

- ① 図・表もデータ形式で作成してください。また、写真は図として扱います。図・写真とも白黒で印刷されるため、写真はカラーより白黒の方がきれいに仕上がります。写真はトリミングを工夫してください。
- ② 図・表はすべて表題をつけ、それぞれを1点ごとのPDFファイルにしてください。図は表題のほかに説明もつけてください。
- ③ 本文中および欄外に図・表の挿入場所を明示してください。
- ④ 引用・転載の図・表は、それぞれの出典を明記してください。

10. 論文掲載決定後、英文要旨は300語程度（表題、著者名、所属、キーワードを含む）にまとめ、著者の責任において、適正な英文原稿を提出してください。

「東京作業療法」投稿承諾書

(一社)東京都作業療法士会学術誌編集委員会 殿

下記論文を、(一社)東京都作業療法士会学術誌『東京作業療法』に投稿いたします。本論文は、今までに他誌に掲載済み、あるいは投稿中でないことを誓約します。また、本論文を投稿するにあたり、共著者も投稿することに同意し、その内容に責任を持つことを承諾いたします。

論文題名 _____

筆頭筆者署名 _____ (会員番号 _____)

共著者署名 _____ (会員番号 _____)

共著者署名 _____ (会員番号 _____)

共著者署名 _____ (会員番号 _____)

共著者署名 _____ (会員番号 _____)

※(一社)日本作業療法士協会非会員である場合は、会員番号欄に職種名をご記入ください。

投稿原稿チェックリスト

投稿時に下記チェックポイントで再度ご確認の上、チェックをしてください。

- 最新の投稿規定と執筆要領は十分に読まれましたか？
- 倫理的事項について、十分確認されましたか？
- 倫理審査を経ている場合は、承認番号（ないときは承認年月日）が記載されていますか？
- 倫理審査を経していない場合は、所属施設（または部門）の責任者より文書による承認を得て、その旨を本文中に記載していますか？
- 利益相反（COI）の有無について（ある場合は、その内容も）、論文の本文最後（文献の前）に書かれていますか？
- 論文の内容に新規性（オリジナリティ）はありますか？
- 論文種目（論考・総説・研究論文・実践報告・短報）は適切ですか？
- 論文の長さ、図表の数は論文種目に対して適切ですか？
- 著者の人数は適切ですか？
- 論文に研究目的が明確に示されていますか？
- 文献リストは執筆要領に従って書かれていますか？

年 月 日提出